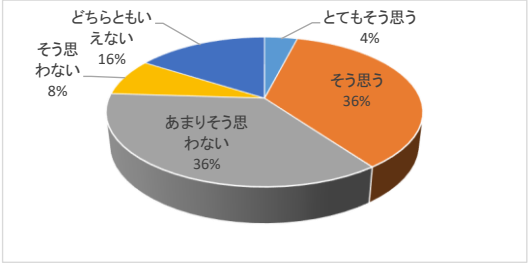


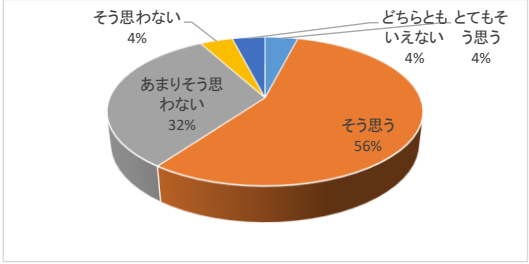
Q. 日々の授業をととして、以前より自信を持って英語を指導できるようになったと感じますか？

とても思う	1
思う	9
あまりそう思わない	9
そう思わない	2
どちらともいえない	4



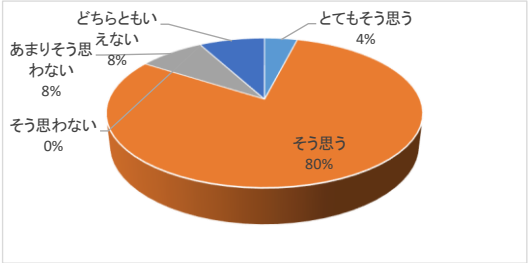
Q. 外国語指導助手(ALT)や専科教員と、打ち合わせを含め効果的なチームティーチング(TT)が展開できたと感じますか？

とても思う	1
思う	14
あまりそう思わない	8
そう思わない	1
どちらともいえない	1



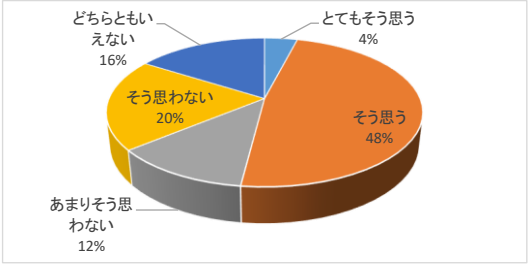
Q. 児童の外国語学習に対する肯定的な態度の向上を感じられましたか？

とても思う	1
思う	20
あまりそう思わない	2
そう思わない	0
どちらともいえない	2



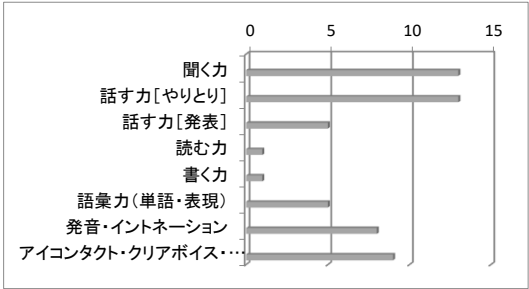
Q. 児童の中学校の英語学習に対する不安は軽減されたと感じますか？

とても思う	1
思う	12
あまりそう思わない	3
そう思わない	5
どちらともいえない	4



Q. 児童のコミュニケーション能力の中で、向上したと感じる知識・技能は何ですか？

聞く力	13
話す力[やりとり]	13
話す力[発表]	5
読む力	1
書く力	1
語彙力(単語・表現)	5
発音・イントネーション	8
アイコンタクト・クリアボイス・ジェスチャー等	9



Q. 教育課程特例校の実施に関して、ご意見や感想があれば、ご記入ください。

低学年で生活科の時数を減らしてまで外国語を行う意義が見いだせない。生活科、母国語である国語をもっと大切にしたい。

専科の外国語の講師がいると助かります。担任の英語力だけでは限界があると感じました。

現行の小学校の教科書と中学校の教科書では、学習内容の開きがありすぎると感じられる。小学校で慣れたから、今までの中学校の学習内容についていけるね。ではなく、小学校でやってきたはずだから、中学校ではさらにレベルを上げた状態でもついていけるよね。となっている感じがします。せっかく小学校で英語に親しむ学習をしても、総じて中学校の学習内容のレベルが上がってしまっは、児童の不安軽減にはつながらないのではと思いました。

本年度は小学校高学年の理科の専科講師を行っていたため、学級担任のように詳しく分かりませんでした。